

紛らわしい品詞①

ない

「ない」は、形容詞と助動詞の二種類に分けられ、また、形容詞の一部の場合もある。

◇例文◇

- ① 周囲に高い木はない。
(形容詞・存在の打ち消し)
- ② 庭はあまり広くない。
(形式形容詞・打ち消し)
- ③ 人間の一生ははかない。
(形容詞の一部)
- ④ 少しも意見を言わない。
(助動詞・打ち消し)

◇見分け方◇

- 形容詞の「ない」は、直前で文節に切ることができる。
- 形式形容詞は、「ない」のすぐ上に「は」「も」などを入れることができる。
例 広くない ↓ 広くはない
- 助動詞の「ない」は付属語なので、直前で文節に切れない。また同じ打消しの助動詞「ぬ」に置きかえることができる。
例 言わない ↓ 言わぬ

※「いる」「いない」「ない」は「ぬ」にならないが助動詞。

◇演習問題◇

- 1 次の各文の「ない」と同じ品詞のものを一つずつ選び、記号で答えなさい。
- ① 彼は、休んだことはほとんどない。
ア 雨なので、出かけられない。
イ 行事も終わって、何も用事がない。
ウ 校庭では、一人も遊んでいない。
エ この問題は、少しもわからない。
 - ② だれも読まぬ書物は単なる死物の倉庫にすぎない。
ア このことについては何の心配もない。
イ 家の中は物音一つしない。
ウ 今日の彼の表情はおだやかでない。
エ 今夜の月は明るくない。
 - ③ うまく動きそうだったが、そうはいかない。
ア 彼の妹はあどけない。
イ この町には遊園地がない。
ウ 川の水がきたない。
エ 私は約束を忘れない。

2 次の文の「ない」と同じ使われ方をしているものを一つ選び、記号で答えなさい。
(香川県)

- 立身出世が不可能だというわけではない。
- ア 一人でも悲しくない。
- イ 彼はことば数が少ない。
- ウ 美しい花が咲かない。
- エ 欠席者は一人もない。
- オ 私に気がついてはくれない。



クラス
氏名

らしい

「らしい」には、推定の助動詞と形容詞の接尾語、形容詞の語尾の三つの場合がある。

◇例文◇

- ① 彼女は親切な人らしい。
(助動詞・推定)
- ② 子どもらしい遊びをする。
(形容詞の一部・接尾語)
- ③ あたらしい家に引越した。
(形容詞の一部)

◇見分け方◇

- 助動詞は、「……のように思われる」という推定の意味。
- 形容詞の「らしい」は、名詞に、接尾語の「らしい」がついて形容詞になったもの。
- 「あたらしい」「すばらしい」「愛らしい」など、一語の形容詞の最後の部分がたまたま「らしい」となっているもの。

◇演習問題◇

- 1 次の各文の「らしい」のうち、文法上の性質や意味が違うものが一つある。記号で答えなさい。
(奈良県)
- ア スポーツらしいスポーツは何ひとつできない。
 - イ 友達とさそい合わせての見物らしい。
 - ウ まじめに生きているらしい。
 - エ 思い出さなかったらしい。
- 2 次の文の「らしい」と同じ意味・用法のものを一つ選び、記号で答えなさい。
(群馬県)
- 長い間、私の心の奥底に潜み続けてきたらしい。
 - ア いまごろ雷とはめずらしい。
 - イ いかにも子供らしい子供だ。
 - ウ わざとらしいお世辞を言う。
 - エ 明後日は天気になるらしい。

と

「と」には、副詞の一部、連体詞の一部、格助詞、接続助詞の四種類がある。

◇例文◇

- ① ゆっくりと歩く。
(副詞の一部)
- ② とある町に宿をとる。
(連体詞の一部)
- ③ 母とデパートに行く。
(格助詞・共同者を示す)
- ④ 海と山へ行く。
(格助詞・並立を示す)
- ⑤ 「はい」と返事をした。
(格助詞・引用を示す)
- ⑥ 議長となる。
(格助詞・結果を示す)
- ⑦ 人が笑おうと平気だ。
(接続助詞・逆接)
- ⑧ 池を作ると鯉を放した。
(接続助詞・順接)

◇見分け方◇

- ①は、「ゆっくりと」が一語の副詞であって、用言を修飾する。
- ②は、「とある」が一語の連体詞であって、体言を修飾する。
- 格助詞の「と」は、主として体言につき、それぞれ文節の役割を明らかにする。
- 接続助詞の「と」は、文や文節の終わりにつく。

◇演習問題◇

- 次の各文の「と」と同じ意味・用法のものを一つずつ選び、記号で答えなさい。
(長野県・東京都ほか)
- ① 友達と一緒に寝る。
 - ② 顔を洗うと目が覚める。
 - ③ ついに入試の日となる。
 - ア 春になると、桜が咲く。
 - イ 友達と勉強した。
 - ウ ぼくがどうしようも勝手だ。
 - エ どうとう延長戦となった。